

第 29 回山歩きの会では百蔵山を登りました。

前日夜半に前線の通過に伴う激しい降雨のため、最寄駅である JR 中央線猿橋駅では朝方、山に朝霧が立ち込めていた。しかし、山歩き開始後、徐々に山々が姿を現し、一転して快晴。ほぼ無風の小春日和となって、この時期としては例外的な暖かさの中、汗をかきながらの登山となった。

百蔵山は猿橋駅の北側に見える小ぶりの山である。そしてこの山の大きな魅力は山頂からの大パノラマである。今回は天候に恵まれ、期待通り大月や都留市街の先にどっしりと鎮座する富士山、左手の大室山、御正体山、右手の高川山、三つ峠山、北側の雲取山や奥秩父連山などの大パノラマを満喫する大満足の山登りだった。

まずは猿橋駅に山好きの仲間 5 人が 9:20 に集合し、道標を目印に百蔵山登山口を目指して進んだ。駅から宮下橋、百蔵橋を渡って中央高速を潜り、大月市の市営グラウンドを過ぎ、住宅地の舗装された坂道を 1 時間程進むと登山口の少し手前にガイドブックには無い百蔵山行のバス停、ひろば前にて雨傘を刺したトトロ人形のお出迎えを受けた。ベンチがあり、少し休憩してさらに進むと道路の傾斜が急になり、閉ざされた立派な門のある和田美術館（一般非公開）の前を通過、舗装は無くなり、山道になった。

ここからジグザクに果てしなく続く樹林帯の坂道を休み休み一時間半ほど進み、やっと富士山が見える眺めの良いポイントに出た。さらに少し進んで頂上への分岐を右に折れ、15 分程で頂上に至る。到着は 12:20 であった。一時間程昼食と眺望を十分に楽しみ、おなじ道に戻って、猿橋駅に 16:00 に戻った。

駅周辺には飲み処無く、帰りの電車でビールにて乾杯した点および猿橋の名の由来である日本三大奇橋を見ないでしまった点が心残りであった。

また、今回、足の故障で不参加となった熊谷元リーダーには是非次回、復帰頂き、今後とも楽しい山登りの会を続けて行きたい。（飛田悦男・記）

